

第33回公共事業評価委員会 議事要旨

- **開催日時** 平成28年 7月 7日(木) 10時00分～11時05分
- **場 所** 福島市役所 9階 903会議室
- **出席委員** 7人
 - 川崎 興太(福島大学共生システム理工学類 准教授)
 - 渋谷 順子(福島商工会議所 議員)
 - 山崎 由美(福島県建築士会福島支部 理事役員)
 - 守谷 顯一(福島市農業委員会 会長)
 - 鈴木 芳喜(弁護士)
 - 渡辺 明美(ウイメンズ イノベーションカレッジ イン ふくしま 修了生)
 - 斎藤 久晴(ファイナンシャルプランナー(福島信用金庫))
- **傍 聴** 福島建設工業新聞社 福島支局 記者 1名
福島民友新聞社 記者 1名
市民 1名
- **事務局** 総務部長、総務部次長、行政経営課長、総合計画係長、同係員
- **担当課** 教育部長、保健体育課長、同課長補佐兼スポーツ振興係長、同係員

- **会議次第**
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 議 題
 - (1) 評価対象事業の審議について
 - (2) その他
 - 4 閉 会

議事要旨

(1) 評価対象事業の審議について

①十六沼公園北側用地整備事業

担当課より資料に基づき説明、以下は質疑の内容。

【質 疑】

Q 1. 利用収入には、サッカー以外の利用も見込んでいるのか。

A 1. イベント等による収入は見込んでいない。

Q 2. 競馬場ではイベントを開催しているが、整備予定のコートでイベントを開催すれば収入は増えるのか。

A 2. イベント等の開催については、どのようにするか今後検討していく。

Q 3. 毎年1,500万円の予算が必要になることをどう解決していくのか。

A 3. 観客席がないので高額な有料イベントは難しいと思うが、料金設定は今後検討していく。

Q 4. もっと収入について踏み込んだ提案がほしい。

A 4. 全国大会、有名チームの合宿が誘致できる施設として整備を進める予定だが、全国大会と東北大会を1回ずつ、県大会を2回開催した場合の経済効果を観光コンベンション協会に委託している「福島市来訪者調査」による一人あたりの消費額(宿泊客23,152円、日帰り客6,045円)をもとに試算すると、全国大会1回につき、選手・スタッフ等で800名、役員・審判で500名、観客1,700名、合わせて約3,000名の集客を見込んでいる。

Q 5. 全国大会等以外は、ほぼ練習場としての利用しかなくて毎年1,500万円の経費がかかるなら、観客席を作るなど収益を得ることに踏み込んだ建設にはどうか。

A 5. 現在も十六沼公園の人工芝サッカーコートで東北大会等を開催しており、チケット販売をしないアマチュアの大会なら全国大会も可能である。おおよその試算だが、集客による年間7,800万円の経済効果が図られる見込み。

Q 6. 十六沼公園は都市公園か。

A 6. はい。

意見：都市公園なら工作物の整備許可が緩和される傾向にあるから、収入を得るための仕掛けもしやすいのではないかと。国の動向をみながら工夫していくといいのでは。

意見：景色がいいから屋外コンサートなどをすれば、福島でしか味わえないコンサートになると思う。天然芝であれば気持ちがいいし、見ている人も豊かな気持ちになると思う。ライトアップすれば素敵だと思うし、サッカーだけではもったいない。市民にとって憩いの場になるとよい。

Q 7. 市内に大会で使えるサッカーコートはどれくらいあるのか。整備予定のコートは市内のサッカーコートのなかでどのランクなのか。メインのコートになるようであれば、観客の受け入れも視野に入れて整備されるべき。

狭隘な土地にコートや駐車場を整備するようだが、コート以外のスペースの確保に工夫はできないか。ゆとりスペースが少ないように感じる。

障がいのある方でも自由に入れるようなユニバーサルデザインの視点も入れてほしい。

A 7. 市内では、とうほう・みんなのスタジアムがメインのコートで、ほかに信夫ヶ丘に天然芝の競技場がある。整備予定のコートはとうほう・みんなのスタジアムの次のレベルのコートにしていきたい。

観客のスペースについては、2面のうち片面で試合をし、もう片面を観客スペースとする考え。子どもの試合をする場合は4面とれるようになるので、スペースを工夫しながら観戦してもらうことを検討したい。また、サッカーコートの周りの土手に座って観戦することも可能である。

Q 8. 11億の費用はどのように捻出するのか。他の事業に支障はないのか。

A 8. 市の予算には、毎年かかる固定経費とその他に使える経費があるが、今回の費用はその他に使える経費から支出する予定。

意見：自治振で市道修繕などを要望するがなかなか進まない。一方だけ進めるのではなく調和のある市政を望む。

Q 9. トイレはあるのか。

A 9. ソフトボール場とサッカーコートの上にトイレがある。現在建設中の屋根付運動場にもトイレを設ける。

Q 10. 駐車場は209台分確保できるのか

A 10. 基本設計の段階なので209台分確保できるとは言い切れないが、できるだけ確保していきたい。

Q 11. 駐車場についてファミリー向けの配慮をしてほしい。乗り降りする際の安全面にも配慮を。台数確保も大事だが、安全性や利便性を考慮することも必要ではないか。

A 11. 現段階で具体策はないが安全対策についても検討していく。

Q 12. totoの助成金以外に助成金を利用できる可能性はあるか。

A 12. フットボールセンター助成金の利用が可能ということで県サッカー協会と調整している。利用できる助成金は利用しながら一般財源を減らしていきたい。

Q 13. 天然芝は病気になるなど維持管理が難しいと聞く。整備予定のコートでイベント等の開催を検討しているとのことだが、とうほう・みんなのスタジアムなど既存の天然芝のコートでイベントをしたことがあるのか。その結果どうなったのか。収入を得るためにイベントをして、維持管理に余計な経費がかかっては意味がない。専用使用のほうがいいと思うが。

A 13. とうほう・みんなのスタジアムでは、子どもに芝を体感させるイベントのようなことをしていると聞いている。病気の心配もあるのでイベントの開催は今後検討しながら、支障のない範囲でできるだけ皆さんに解放していきたい。

Q 14. 北側市道拡幅のための地権者との交渉はしているのか。

A 14. 市道の改良工事は、現在の砂利の市道を市有地側に拡幅する予定であり、現段階では交渉はしていないが、今後、設計の中で、道路の線形を考慮した際に地権者との交渉が必要になる可能性もある。

Q 15. 幅員はどれくらいの予定か。

A 15. 車道6メートル、片側歩道3メートルの9メートルの予定。

(まとめ) イベント開催などさまざまな場面での利用促進の方法を検討すること、また、幅広い年代の利用を想定した安全対策をしっかりとすることを付帯意見として、新規着手について認める、ということでまとめたいと考えるがいかがか。

(「異議なし」の声)

市に対する意見具申について、一任の下ですすめさせていただいてよろしいか。

(「異議なし」の声)

(2) その他

事務局より以下の説明

- ・ 本日の審議結果を受け、福島市公共事業評価実施要綱に基づいて市の対応方針を速やかに決定する。
- ・ 本委員会の評価結果と対応方針、議事要旨については、市のホームページにより公表する。

閉 会 11:05